



▲体験入学講演会に来た多くの方の前で行われた『称号授与式』

**登別ときめき大学称号授与式
基礎コース最終講座兼体験入学講演会**

3月11日(土)、市民会館で、登別ときめき大学の称号授与式と基礎コース最終講座兼体験入学講演会(全て市主催)を開催しました。

同大学は、年齢・性別に関係なく、文化や歴史などさまざまな分野について学ぶことのできるもので、一定の単位を取得した方に学士などの称号を授与しています。

今回、修士と博士の2つの称号を取得した長利勉(ながとみ)さんは、「ときめき大学では、色んな人と知り合い、自分にあったジャンルを選んで学ぶことができます」と体験入学講演会に来られた方に入学を呼び掛けました。

共に学ぶ同級生を募る

3/11

迅速で的確な消火体制の強化を
消防車両の更新

2/14

市消防は、老朽化による消防ポンプ機能の低下や車両整備に係る部品などの調達が困難であるため、2月14日(火)に登別温泉支署と鷺別支署へ水槽付消防ポンプ自動車をそれぞれ更新配置しました。

更新した車両は、水と消火剤を混合して泡状に放水する、最新鋭の『圧縮空気消火装置』などを搭載しており、消火効率の向上などに効果があります。

市消防は、今回配置した車両でさまざまな火災に対応し、今後も、市民の皆さんの安全・安心を守ります。



▲更新した水槽付消防ポンプ自動車

大人も子どもも
雪遊びを満喫

3/5

カルルス温泉冬まつり



▲勢いよく滑走した『親子ボブスレー』



▲スキー大会の小学6年生男子の部で優勝した高橋さん



▲無料で振る舞われた『サケのクリームシチュー』

3月5日(日)、カルルス温泉サンライバスキー場で『カルルス温泉冬まつり』(同まつり実行委員会主催)が開催されました。

『雪中みかん拾い』や『親子ボブスレー大会』、『オロフレ雪原宝探し』など、親子で雪と親しむ催しが行われたほか、登別漁港で水揚げされた秋サケとのぼりべつ牛乳、登別チーズを使用した『サケのクリームシチュー』、市内で捕獲したエゾシカ肉を使用した『ディアシチュー』各200食が無料で振る舞われ、子どもも大人も楽しい冬の一日を過ごしました。

また、同日には『歩くスキーの集い』や『アルペンスノーボード体験』のほか、『少年スキー大会』なども行われ、参加者は、冬のウィンタースポーツを満喫。同スキー大会の小学6年生男子の部で優勝した高橋玲(なかしら)さんは「楽しく滑れました。6年間続けてきたスキーで優勝できて本当にうれしいです」と話してくれました。